

“めざそう笑顔のまちづくり”

とんぼんまわ

6月号

令和2年6月1日

発行 NO.159

三本木まちづくり協議会

発行責任者 会長 本田恭子

「地域のことを 地域みんなで考え 地域みんなで解決していくために」

大切な人のために…

Stay Home



「さしのべる 手から広がる 友達の輪」

「信じる目、傾ける耳、差し出す手」

青少年のための大崎市民三本木会議





おわび

三本木6月の予定のコーナーはお休みさせていただきますことご了承ください。

二階堂トクヨ先生を顕彰する会総会延期のおしらせ

二階堂トクヨ先生を顕彰する会の総会を延期へ
日頃は本会に多大なるご支援をいただき感謝申し上げます。さて、6月中旬に開催予定の「二階堂トクヨ先生を顕彰する会」第3回通常総会は、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため、やむなく延期することにいたしました。今年はトクヨ先生の生誕140周年ですが、各種の記念事業は秋口以降に順延致します。引き続き、ご協力をいただきますようお願い申し上げます。皆様のご健康と、新型コロナの一日も早い終息をご祈念申し上げます。

令和2年6月1日

二階堂トクヨ先生を顕彰する会
会長 佐藤 武一郎

三本木まちづくり協議会 委員向けアンケート報告

三本木まちづくり協議会は地域課題解決を目指し活動しています。2020年度の事業計画を委員間で話し合う為、2月にアンケートを実施しましたのでご紹介します。

1. あなたが関心を持っている地域課題は何ですか？（複数回答可）

- 防災・災害対応……………9人
- 地域事業の後継者不足……………7人
- 子育て支援……………5人
- 環境活動・防災活動・公共サービス……………3人
- 健康管理・健康づくり・産業・観光・文化活動……………1人
- 地域コミュニティ……………8人
- 少子高齢化……………6人
- 交通安全・福祉活動・地域活動・教育活動……………4人
- スポーツ振興……………2人

2. 1で回答した中で、特に緊急性が高いと思う課題を上位2つまで選択してください。

- 防災・災害対応……………7人
- 地域コミュニティ……………4人
- 環境活動・地域事業の後継者不足……………2人
- その他（人材育成・若者の地域参加）……………1人

3. 2で回答した中に、まち協で取り組むべきだと思ふ課題はありますか？

あると答えた方は、取り組むべき課題と理由をご記入ください。

- 防災・災害対応……………自助・共助の市民意識の醸成、体験型事業開催、人命に関わることだから
- 地域コミュニティ……………地域コミュニティづくりがまちづくりの基本だから
- 地域活動……………担い手不足や後継者不足が心配
- その他……………次世代の人材の育成が大切

将来に向けたまちづくりを考える時、次世代のメンバーを育てることは大切だから

委員間でも防災・災害対応への関心の高さが出ていることから、今後も継続した話し合いを重ねていく必要性が伺えた結果となりました。

短歌

お菓子屋の女主人もマスクがけ
言葉少なに柏餅包む

伊藤 ふみ子

老いの身は人一倍に感染を

「三密」避けて自分を律する

佐々木 和子

もういちど尾瀬の木道歩きたし

傘寿のわれの旅の終わりに

手代木 亮一

三十歩進んでは息を休ませて

久方ぶりの長歩野の風

阿部 郁子

いつもなら人が溢れる観光地

今年の五月はステイホーム

鈴木 真子



円通院製テラノマスク♥手づくりマスクを1300枚配布

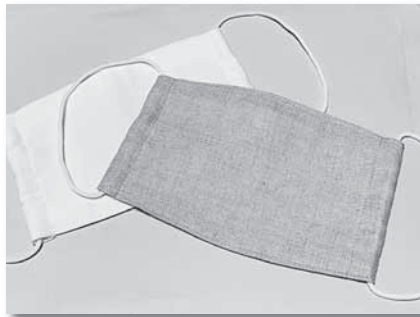


ゴールデンウィーク終盤の5月9日(土)、三本木新沼の「円通院」から、円通院檀信徒、長寿院檀信徒、百才館、ショートステイしらとりのみなさんへ手づくりのマスク、約1,300枚が配布されました。コロナウィルス感染拡大防止の中、マスクが手に入らない状態が続いていたことから、円通院住職が、「お袈裟の会」メンバーに呼び掛け4月上旬からマスク製作が始まりました。

材料は晒(さらし)以外、ほとんどが製作者の自前で作られました。写真(左)は、マスクをつくってくれたみなさんです。子ども達も加わり一刻も早いコロナウィルス感染の終息を願い作られました。

手づくりマスク製作者

瀬戸 忍さん(下宿)
高橋 美和子さん(下沖)
稲村 和男さん(蟻ヶ袋)
稲村 心さ子さん(蟻ヶ袋)
高橋 ますみさん(岩手県)
右端は円通院住職



マスクは2枚ずつ配布されました。(写真上)

大判で出来ている為、ゆったりと肌触りもとても良い仕上がりになっているので、これからの季節気持ちよく装着できそうです。



円通院本堂

まち協委員 コラム

緊急事態宣言の5月31日までの延長が発表されました。政府は各都道府県の感染状況を見ながら、宣言の解除も視野に入れ検討すると報道にありました。宮城県では感染者数の推移が横ばいなので、7日以降の自粛要請を解除しました。が、死亡者が出てしまいました。自粛を解除して本当に大丈夫?、と心配になります。解除を「安全宣言」と受け

取って行動すると大変なことになると思います。ここは3密を避け、手洗いや消毒をしっかりと行うことを心がけましょう。

また、デマや風評被害が出ないか心配です。感染者の家族や医療従事者の関係者等に対する、いじめ・誹謗中傷の事例が多数報道されています。病気の最前線で戦っている人々に感謝こそすれ、排除しようとするのは悲しいことです。

「情けは人の為ならず」ということわざがあります。最近「情けをかけることはその人の為にはならないのでかけない方がよい」という間違った使い方をする傾向が広まっています。本来は「情けを他の人にかけて、巡り巡ってその情けは自分に戻ってくる」という意味です。これを裏読みをしてみると「逆もまた真なり」と解釈できるのではないのでしょうか。つまり、誹謗中傷や悪口を言っていると、巡り巡ってその誹謗中傷や悪口が自分に降りかかってくるともいえます。

自粛、自粛で学校の授業の再開や地域コミュニティの行事活動がままなりません。敵はウィルスです。何かをしようとしたときは、他の人を思いやる気持ちを持って行動しましょう。そうすれば巡り巡ってよい結果につながるのではないのでしょうか。

By とみけん



協賛広告

もしもの時心強い、安心とまごころのサービスでお応え致します。《**会員募集**》

各宗葬儀

有限会社 **儀典社**

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字西沢2-5
TEL 0229-52-2401 FAX 0229-52-2706

自宅葬(密葬)プラン	98,000円から
会館葬(密葬)プラン	128,000円から
会館葬(家族葬)プラン	200,000円から

三本木ボランティア友の会

三本木ボランティア友の会は三本木地域の福祉の向上のために、平成15年6月21日に旧三本木町で活動していた『ボランティアほのぼの会』を継承して設立されました。

25年には設立10周年記念事業を、29年には旧町から数え四半世紀に渡る活動を振り返り、『三本木地域ボランティア活動25周年を語る会』が三本木公民館を会場に開催されました。

友の会の活動として総会と、会員自身が講師をしたり外部講師を招いての研修会、東日本大震災の被災地訪問する移動研修会が挙げられます。また、大崎市ボランティア連絡協議会の一員として連携を図り、『大崎地域、登米ボランティア交流会』にも毎年参加しています。

◆ 交流会 ◆



◆ 移動研修会 ◆



平成27年 石巻市視察



平成29年 南三陸町視察



令和元年 亶理町視察

◆ 総会・研修会 ◆



	グループ名	活動内容
1	美味しい会	調理ボランティア
2	喜楽会	キャップハンディ体験、身障協会レク協力
3	読み聞かせ虹の会	読み聞かせ、朗読、大型紙芝居、影絵
4	POP（ポップ）	青少年健全育成、芸術文化地域づくり活動
5	保育ボランティア	各種事業の託児（保育サポート）
6	民生委員児童委員協議会	社会福祉全般
7	つゆくさの会	「すいせん植え隊」環境美化活動
8	交通安全ボランティア	通学時の声かけ、交通安全指導
9	お茶っこ会	高齢者のつといででのサポーター

所属するグループは会員の高齢化にともない、現在は9グループ100名程に減少しました。ボランティア活動に興味のある方は大崎市社会福祉協議会三本木支所まで連絡下さい。(☎52-2929)

1988年7月に三本木で初のJETプログラムによるALTが設置されました。それ以来2007年に帰国した小野剣さんまで、13人のJETプログラムからのALTが三本木に勤務しました。その後合併して大崎市になり、ALTは派遣会社から派遣されるようになりました。ALTとして三本木に住んでいた外国人たちとの交流を、記憶をたどりながら思い出を語ろうと思います。

ALT編 キャロル・スメリー

7人目のALTはニュージーランドから来たキャロル・スメリーさんです。小柄で元気な人でした。1995年から96年まで一年間三本木のALTとして滞在しました。気さくな人柄で、だれとでもうちとける人でした。ALTの友達も多く、一緒に登山をしたり、バーベキューをしたりしていました。ニュージーランドから来て

いたCIRの友達と一緒に私たちと船形山に登山もしました。ニュージーランドに婚約者がいて、一度婚約者のお母さんが来日したことがあります。キャロルさんがいるときに前任のリサさんも遊びに来ました。写真にあるように当時の町民運動会にも参加して南谷地を応援していました。2年の滞在も考えていたようですが、結局1年で帰国しました。帰国の際に、婚約者が迎えに来て、10日ぐらい滞在して二人で大きな荷物を背負ってニュージーランドに帰国しました。とにかく元気な人だったという印象です。

キャロルさんがいたころの英会話クラブは定期的な勉強会というよりは、ハイキングやパーティなどのイベント中心の活動をしていた気がします。船形山に登山もしました。山頂まで行って山頂からの眺めを楽しみました。キャロルさんが三本木に来た次の年にカウボーイがオープンしました。7月に帰国する前に、彼女の友人のALTたちも招待して南谷地のコミュニティセンターでBBQをしました。その材料を買いにオープンしたばかりのカウボーイに行きました。当時カウボーイは東北一の規模のショッピングモールで宮城県内外、仙台方面からも買い物客が集まって大変な盛況でした。キャロルさんと二人で私の車で買い出しに行ったのですが、買い物を終えてカートを押して車に戻ろうとしたら満車の駐車場で自分の車がどこにあるのかわからなくなりました。二人で笑いながら車を探したのを覚えています。写真にもありますが、10人ぐらいのALTが集まりました。彼女と特に仲が良かったのはイギリス、エジンバラ出身のエマでした。そのBBQの時に

キャロルの次のALTだったエリザベスと結婚することになる、サイモンも参加していました。キャロルは一年で帰国しましたが、彼女の友達のALTたちの何人かは引き続きALTとして残りました。サイモンさんも含めてその交流は後任のエリザベスさんにも引き継がれて私のALTとの交流も人数が増えていきました。取材・文責：伊東 仁



▲町民運動会で南谷地を応援



▲英会話クラブメンバーと送別会



▲帰国後來日したリサと



▲ニュージーランドから迎えに来た婚約者と



▲ニュージーランドから迎えに来た婚約者と帰国



▲近隣のALTを招いてBBQ



▲船形山に登山。山頂で

おおさき市民健診のおしらせ

令和2年度「おおさき市民健診」は、新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け、今後の実施日程が未定です。

届いた受診票や検査容器などは、健診が開始されるまで、保管をお願いします。



おおさき市民健診
追加申込み・問合せ先は

52-2114

三本木総合支所市民福祉課

小学校・中学校・ひまわり園へ 消毒液を寄贈

4月30日（木）、（有）三本木衛生興業の佐藤充秀社長より、三本木小学校・三本木中学校・ひまわり園で使用していただきたいと消毒液の寄贈をいただきました。ありがとうございます。



テイクアウトで飲食店を応援しよう！

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を受け、新たにテイクアウトや宅配サービスに取り組み始めている店舗が増えています。

大崎のおいしい食事をご家庭で味わい、不要不急の外出や「密閉・密集・密接」を避け、新型コロナウイルス感染症の拡大を防止しましょう。



○テイクアウトおおさき
「おおさき美味しく応援プロジェクト」
<https://hotpocket.jp/takeout/>



○ふるかわTOGO!
古川飲食店テイクアウト情報
<https://www.boxx22.com/dining/>



休日・夜間診療案内

休日当番医・歯科医及び夜間急患センター等の休日や夜間において受診可能な医療機関の情報を提供しています。（通常診療時間内については、医療機関名等をお知らせしていません。）

◆連絡先：大崎医療圏 ☎0229-24-2267

◆携帯電話からも確認できます。 <https://www.city.osaki.miyagi.jp/index.cfm/6,22,16.html>



三本木地域のミニ統計

令和2年5月1日現在
人口 7,688人（+6）
男 3,827人
女 3,861人
世帯数 2,703戸（+9）
（ ）は前月との比較

ごみ収集カレンダー

（種 別）	（回収日）	
もやせるゴミ	毎週（月・木）	左記の回収日が祝祭日でも回収します。
もやせないゴミ・資源物（リサイクル）	第1・第3（火）	
プラスチック製容器包装	第1・第3（火） ※新町、南新町区は月4回（第1～第4）	

三本木まちづくり協議会

〒989-6321 宮城県大崎市三本木字大豆坂24-3
三本木総合支所地域振興課内 ☎：0229-52-2111 FAX：0229-52-5840

「さんぼんぎねっと」は毎月月初めに発行